

別添2 「三重県高齢者等の移動手段の確保等に向けた地域モデル事業」の各取組

県内市町の取組を令和3年度における地域モデル事業として選定しました！

桑名市次世代モビリティ推進事業(桑名市) 〔次世代モビリティ等活用〕

<現状・課題>

・ドライバーの高齢化や人手不足が見込まれる中、持続可能な交通サービスに向けた方策が求められている状況。

・内外から人が集まる賑わいと活力ある拠点づくりを進めるため、観光やビジネスで訪れる拠点となる東口と、通勤通学や買い物などの拠点となる西口の連携を図りつつ、桑名駅周辺の都市機能の再構築が必要。

<取組内容>

・交通結節点の桑名駅と、生活と観光が混在する「七里の渡し」エリアを結ぶ自動運転の実証実験を実施する。

・将来的な遠隔監視を見据え、高精度3次元マップ、障害物や信号の認識などによる走行を実証実験。

・実証実験時期：令和4年1月～2月のうち3日間程度(予定)

<ポイント>

・少子高齢化などにより顕在化する課題に対応すべく、自動運転の技術検証と社会受容性向上を目的として令和元年度から実施した実証実験結果を踏まえ、令和3年度は、自動運転サービスの事業化に向けた検討を行うための実証実験である。

・他の交通モードとの連携による広域的な展開、新技術等の活用に加え、高齢化社会に対応した交通結節点づくりや桑名駅周辺の都市機能の再構築などまちづくりに向けた取組である。



南伊勢町町営バス大方竈線実証事業(南伊勢町) 〔福祉分野等との連携〕

<現状・課題>

・阿曾浦・大方竈地区は、道路幅が狭隘でバスの乗入ができない。高齢化が進み、高齢者の買い物など日常生活における移動手段、児童の登下校のためのスクールバスがない状況。

<取組内容>

・バス停から遠く離れ、バスの乗入ができない道路狭隘地区での運行を実施することで高齢者、児童などの移動手段を確保する。

・既存のバス路線との乗継に加え、教育分野との連携により、小学校中学校別に運行しているスクールバスの統合やそれとの乗継を、医療分野との連携により、病院が運行する送迎車両との乗継を検討する。

・実証実験期間：令和4年1月～3月(予定)

<ポイント>

・福祉分野に加え、様々な分野と連携して、新たな交通サービスを提供することにより、地域住民の移動手段の確保につなげる。

・運賃を徴収するなど本格運行を見据えた取組である。

【ルート及びダイヤ案(調整中)】

